

岡安証券 ～注目・外株銘柄～ (2023年9月)

【米国市場・20銘柄掲載】

(株価データ、株価指標は現地2023年8月30日現在)

<8月に追加>

P1 【半導体設計】 ケイデンス・デザイン・システムズ(CDNS)

<継続>

P2 【ハイテク主力】 アップル(AAPL)

P3 【ハイテク主力】 アルファベット(GOOG)

P4 【クラウド】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)

P5 【クラウド】 マイクロソフト(MSFT)

P6 【ハイテク主力】 メタ・プラットフォームズ(META)

P7 【動画配信】 ネットフリックス(NFLX)

P8 【IT大手】 IBM(IBM)

P9 【SaaS系企業】 アドビ(ADBE)

P10 【SaaS系企業】 サービスナウ(NOW)

P11 【半導体】 エヌビディア(NVDA)

P12 【半導体】 アドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)

P13 【半導体】 ASMLホールディングADR(ASML)

P14 【セキュリティ】 パロアルト・ネットワークス(PANW)

P15 【電気自動車】 テスラ(TSLA)

P16 【民間旅客機】 ボーイング(BA)

P17 【生活必需品】 プロクター&ギャンブル(PG)

P18 【飲料】 コカ・コーラ(KO)

P19 【製薬大手】 イーライ・リリー(LLY)

P20 【医療機器】 インテューティブ・サージカル(ISRG)

<追加>

半導体・電子部品設計ツール(EDA)企業

<継続>

デジタルIT機器の設計・販売大手

インターネット検索世界最大手

インターネット小売世界最大手

ソフトウェア世界最大手

米SNS運営世界最大手

動画配信世界最大手

IT業界の老舗企業

クリエイター向けソフトウェア企業

企業向けIT管理ソフトウェア企業

画像処理半導体(GPU)開発企業

米ロジック半導体大手

オランダの半導体製造装置大手

次世代ファイアウォール機器専門大手

米電気自動車(EV)大手

世界最大級の民間旅客機製造企業

世界最大の日用品メーカー

グローバル展開の飲料大手

米製薬大手

手術ロボット世界最大手

ケイデンス・デザイン・システムズ(CDNS)

半導体・集積回路の設計支援ソフトの世界大手

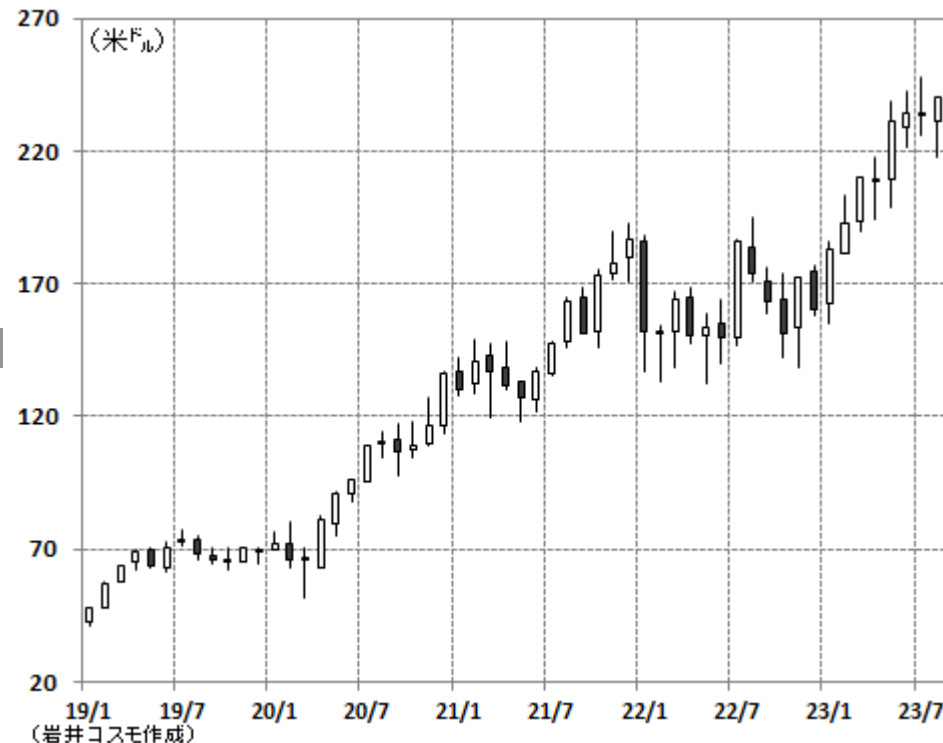
会社概要

世界中の電子システム企業及び半導体企業に小型で複雑な半導体・集積回路、ICチップ及び電子デバイスの設計ができるEDA(半導体設計の自動化ツール)製品を開発、提供。同社の半導体設計ツールは製品を市場投入するまでの時間を短縮させ、設計・開発・製造コストを削減させることに貢献。エヌビディアやAMD、台湾TSMCや米IT大手各社が同社EDAツールを使用、S&P500指数構成銘柄。

注目ポイント

□ **半導体メーカーの名黒子役、ライバルの少ないEDA業界**：顧客は半導体企業や電子部品の開発企業。主要製品EDAの需要は顧客先の開発・投資活動の盛況振りが左右する。EDA業界ではライバルのシプスや独シ-メンEDA(旧メンタ-グラフィクス)と同社の3社しかなく、寡占状態。専門分野を棲み分けしつつ、高い収益性を確保。

□ **今期2度目の業績見通しの上方修正**：23年4-6期決算では、前年同期比14%増収、同17%増の最終増益の着地。会社側はAI関連の売上の強さを受けて今期2度目の上方修正を行い、23年度見通しを売上高40.5億-40.9億ドル、純利益9.15億-9.31億ドルとした。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	239.88 (08/30)
52週高値(日付)	248.1 (23/07/20)
52週安値(日付)	138.78 (22/11/04)
時価総額	652億ドル 9兆5,344億円
株価変化率(%)	24.3 (過去6ヶ月間) 37.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	69.4 (倍)
株価売上高比率	17.0 (倍)
PBR	22.4 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.2 (%)
株式ベータ	1.20 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	2,988	11	779	21	696	18	2.50	0.00
2022/12	3,562	19	1,074	38	849	22	3.09	0.00

四半期業績								
決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2022/Q2	858	—	283	—	187	—	0.68	0.00
2023/Q2	977	14	299	6	221	18	0.81	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

アップル(AAPL)

上場市場

ナスダック

セクター

IT機器

デジタルIT機器の設計・販売大手。収益の多様化が進む。

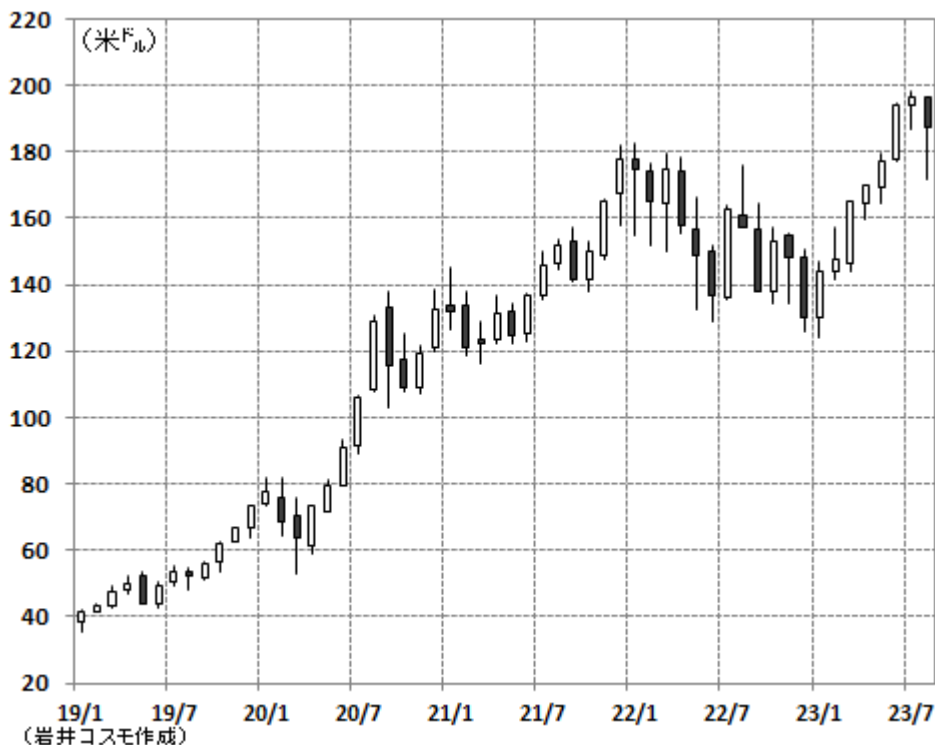
会社概要

スマートフォン(スマホ)「 아이폰 」や、タブレットPC「 アイパッド 」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。15年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□ **新型 아이폰 発表イベントは9月12日**：今秋投入予定の新型 아이폰 は3年に一度の大型刷新に該当、ほぼ同時期に旧型「 아이폰 10 」以前の基本ソフトのサポートが終了する予定で買い替え需要は例年より大きいとされる。新製品発表イベントは9月12日、性能・価格帯別に 아이폰 4種と次世代アップル・ウオッチが披露される予定。発売開始直後の売れ行き観測は株価にも影響を与える可能性がある。

□ **生成AIを独自開発か**：アップルはオープンAIやグーグル等と同様に独自の生成AI(大規模言語モデル)を開発中と一部メディアで7月に報じられた。「アップルGPT」と呼ぶチャットボットも作られたという。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	187.65 (08/30)
52週高値(日付)	198.22 (23/07/19)
52週安値(日付)	124.18 (23/01/03)
時価総額	2兆9,338億ドル 429兆0336億円
株価変化率(%)	27.3 (過去6ヶ月間) 18.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	31.5 (倍)
株価売上高比率	7.7 (倍)
PBR	48.7 (倍)
税前配当利回り(%)	0.51 (直近年率)
配当成長率(%)	4.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	160.1 (%)
株式ベータ	1.16 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/09	365,817	33	108,949	64	94,680	65	5.61	0.865
2022/09	394,328	8	119,437	10	99,803	5	6.11	0.900

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q3	82,959	—	23,076	—	19,442	—	1.20	0.230
2023/Q3	81,797	-1	22,998	-0	19,881	2	1.26	0.240

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

アルファベット(GOOG)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

インターネット検索サービス世界最大手。ネット広告の次の収益基盤を模索

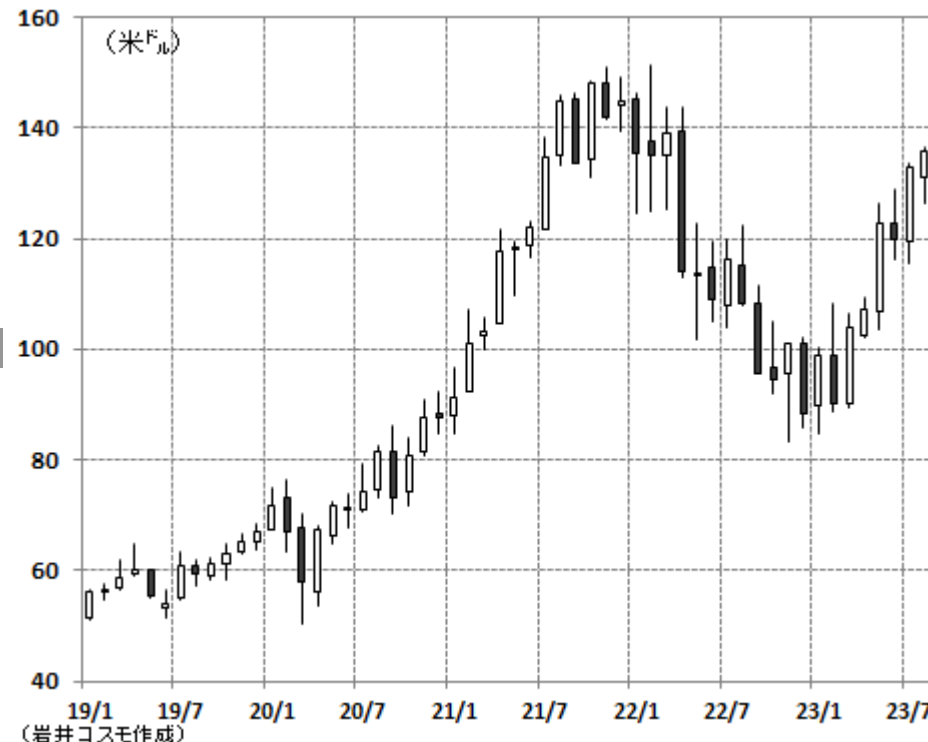
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は181,798人(23年6月末)。

注目ポイント

□ **広告事業が増収転換、AI新サービスの関心高く**: 23年4-6月期決算では検索やYouTubeの広告が持ち直し、ネット広告収入が1-3月期の前年同期比マイナス成長から増収転換した。またクラウド事業も2四半期連続の営業黒字を達成、文書編集する生成AI「デュエットAI」の新サービスに顧客が高い関心を示すなどの反響があったとした。

□ **生成AIの業務用ツールをマイクロソフトと同額設定**: グーグルは8月29日に企業向け生成AIツールのサービス「デュエットAI」の概要を発表。文書・メール・スライド作成が出来、顧客の業務を支援する。既に100万人にテストされ、1人当り月額30ドルとマイクロソフトの「コパイロット」と同額の料金設定とし、マイクロソフトやチャットGPTのオープンAIに対抗する構え。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	135.88 (08/30)
52週高値(日付)	136.57 (23/08/29)
52週安値(日付)	83.34 (22/11/03)
時価総額	1兆7,199億ドル 251兆5125億円
株価変化率(%)	50.9 (過去6ヶ月間) 24.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	27.6 (倍)
株価売上高比率	6.0 (倍)
PBR	6.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	23.3 (%)
株式ベータ	1.13 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	257,637	41	78,714	91	76,033	89	5.61	0.00
2022/12	282,836	10	74,842	-5	59,972	-21	4.56	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q2	69,685	—	19,453	—	16,002	—	1.21	0.00
2023/Q2	74,604	7	21,838	12	18,368	15	1.44	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット小売世界最大手。ネット通販とクラウド受託サービス事業双方が成長

会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、95年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。近年はAI家電のスピーカー型のエコが世界中でヒット。本社はワシントン州シアトル。

注目ポイント

□ **生成AIに参入**: アマゾンは4月13日、クラウドを通じ、文書などを自動で作成する生成人工知能 (AI) を提供すると発表。クラウド事業のAWSを通じて、自社開発の生成AIや新興企業が開発した技術の基盤を提供する。生成AIを巡っては、マイクロソフトなどの米IT大手が開発を競っており、アマゾンは外部の技術も活用することで差別化を図る。

□ **有料会員の特売イベントで過去最高**: アマゾンは会員向けの特売イベント「プライムデー」を7月11-12日に開催、初日の売上が単日の売上として過去最高を更新、また2日間で世界中で3.75億以上の商品が購入されたことを公表した。10月にも「プライムデー」を実施する予定。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価 (米ドル)	135.07 (08/30)
52週高値 (日付)	143.625 (23/08/04)
52週安値 (日付)	81.44 (23/01/06)
時価総額	1兆3,936億ドル 203兆8028億円
株価変化率 (%)	43.3 (過去6ヶ月間) 4.9 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	92.5 (倍)
株価売上高比率	2.6 (倍)
PBR	8.3 (倍)
税前配当利回り (%)	無配 (直近年率)
配当成長率 (%)	— (過去1年間)
株主資本利益率 (ROE)	8.7 (%)
株式ベータ	1.29 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	469,822	22	24,879	9	33,364	56	3.24	0.00
2022/12	513,983	9	12,248	-51	-2,722	赤転	-0.27	0.00

四半期業績

2022/Q2	121,234	—	3,317	—	-2,028	—	-0.20	0.00
2023/Q2	134,383	11	7,681	132	6,750	黒転	0.65	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名 (ティッカー)

マイクロソフト(MSFT)

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア

ソフトウェア世界最大手。生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

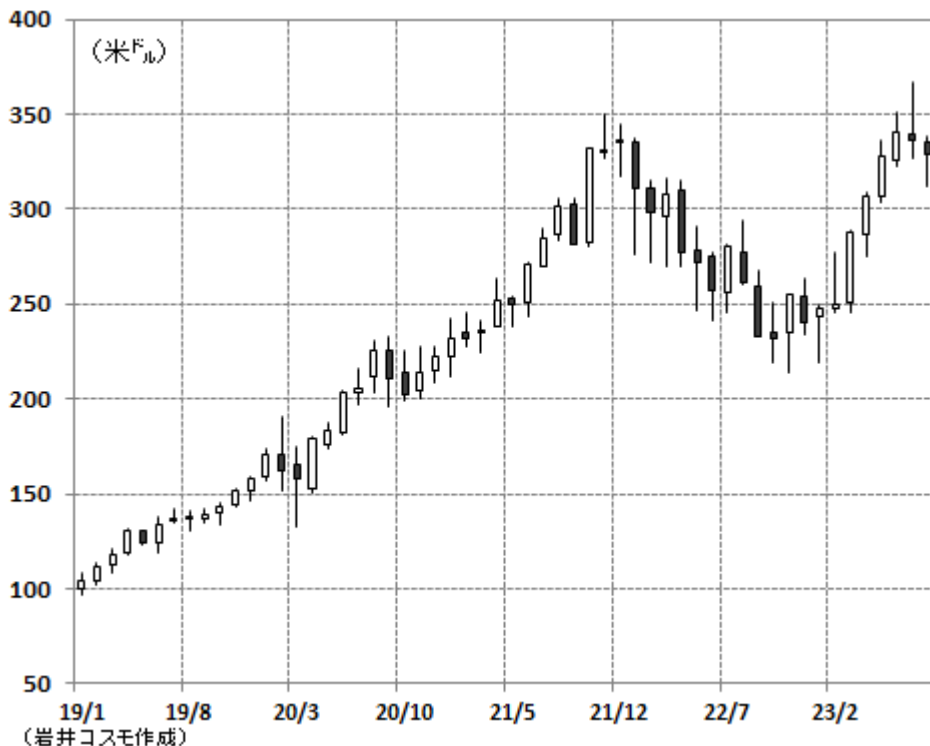
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□**クラウド事業の拡大が奏功**:マイクロソフトはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理の「アジュール」、リンクインなどが成長けん引役である。

□**生成AIのサービス料金設定を発表**:業務用ソフト「オフィス」と連動する新たなAIツール(コパイロット)を現状は企業向け試験運用の段階ながら、1ユーザ当たり月額30ドルで提供すると発表。機密性を高めた企業用の検索エンジン「ビング」を「マイクロソフト365」に追加して単体でも1ユーザ当たり月額5ドルで提供する見込み。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	328.79 (08/30)
52週高値(日付)	366.77 (23/07/18)
52週安値(日付)	213.46 (22/11/04)
時価総額	2兆4,428億ドル 357兆2398億円
株価変化率(%)	31.8 (過去6ヶ月間) 25.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	33.6 (倍)
株価売上高比率	11.6 (倍)
PBR	11.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.83 (直近年率)
配当成長率(%)	9.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	38.8 (%)
株式ベータ	1.13 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/06	198,270	18	83,383	19	72,738	19	9.65	2.48
2023/06	211,915	7	88,523	6	72,361	-1	9.68	2.66

四半期業績

2022/Q4	51,865	—	20,534	—	16,740	—	2.23	0.62
2023/Q4	56,189	8	24,254	18	20,081	20	2.69	0.68

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

メタ・プラットフォームズ(META)

38億人のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

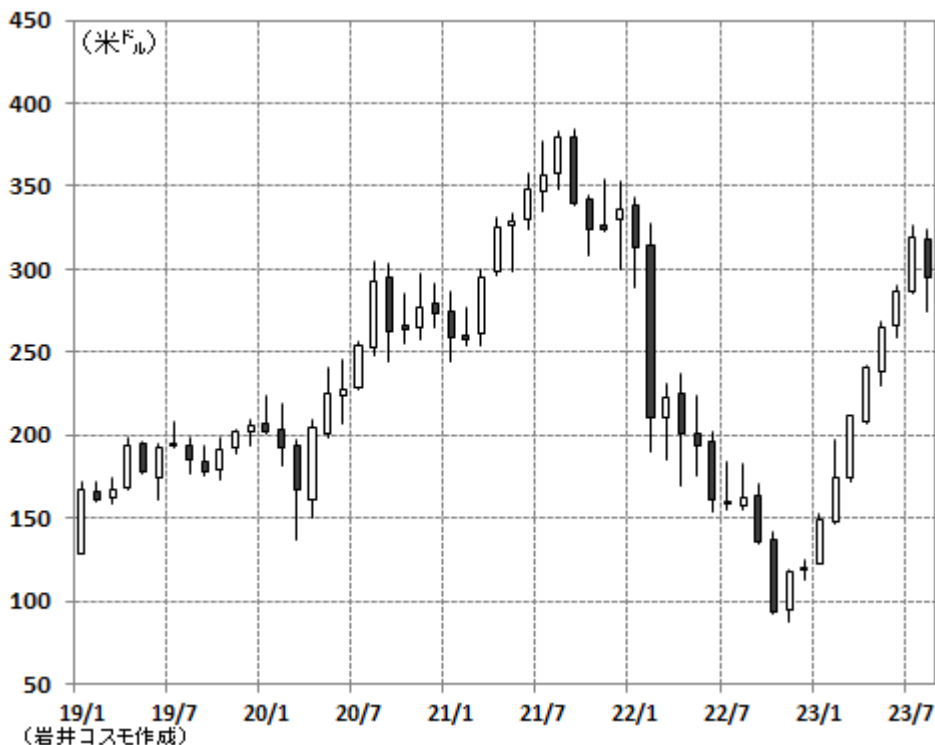
会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼動、インスタグラムなども含む)は全世界で38.8億人(23年4-6月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。21年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は約71,469人(23年6月末時点)。

注目ポイント

□ **AI向け基盤を無償提供**: メタは7月18日、対話型AIの技術基盤をマイクロソフトの利用者に無償(オープンソース化)で提供すると発表。自社の大規模言語モデル「ラマ2」を商用利用を可能にし、優先パートナーとしてマイクロソフトと提携した。多くの人が精査することで安全性が向上することが狙い。マイクロソフトは顧客の多様なニーズに応えた格好。

□ **短編動画「リールズ」の収益化前進**: 4-6月期決算発表の場でメタは、SNSで展開される短編動画「リールズ」の1日の再生回数が2,000億回に達したことや、年換算の収入額が10億ドルを超えたことを発表し、収益化困難とみられた短編動画事業で前進があったとした。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	295.1 (08/30)
52週高値(日付)	326.2 (23/07/28)
52週安値(日付)	88.1 (22/11/04)
時価総額	7,593億ドル 111兆0459億円
株価変化率(%)	68.7 (過去6ヶ月間) 87.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	23.7 (倍)
株価売上高比率	6.4 (倍)
PBR	5.7 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	17.4 (%)
株式ベータ	1.21 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	117,929	37	46,753	43	39,370	35	13.77	0.00
2022/12	116,609	-1	28,944	-38	23,200	-41	8.59	0.00

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q2	28,822	—	8,358	—	6,687	—	2.46	0.00
2023/Q2	31,999	11	9,392	12	7,788	16	2.98	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

動画配信サービス最大手。広告付きプランで会員増と広告収入獲得を目指す

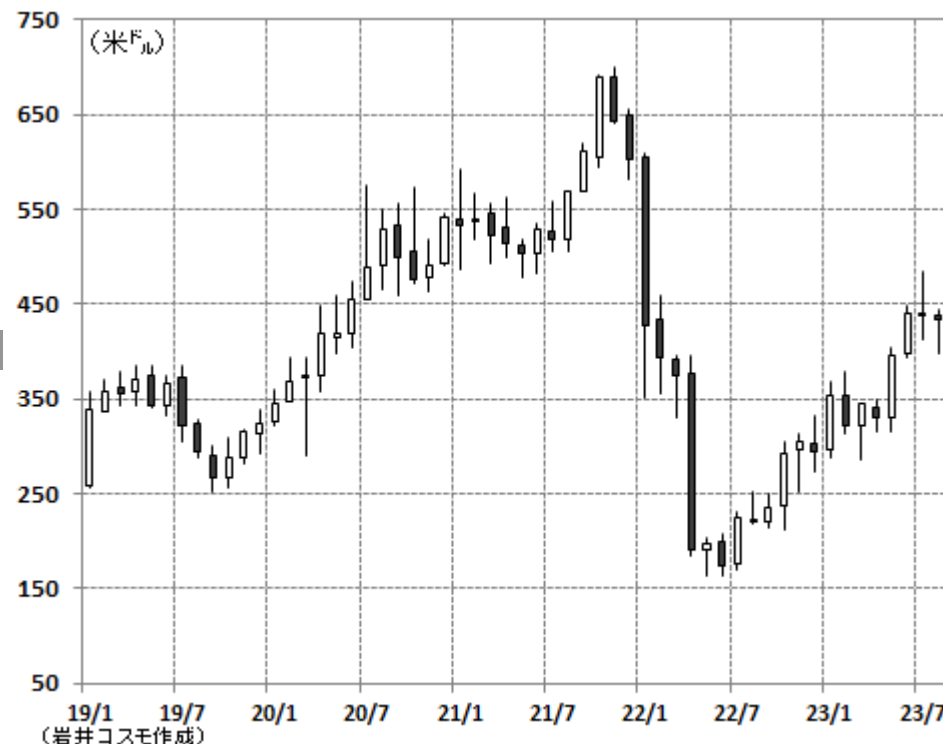
会社概要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナルコンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。23年6月末時点の会員数は全世界で約2.4億人。

注目ポイント

□ **アカウント共有に厳格対処、ユーザー数の増加要因に**：Netflixでは1億人超が料金を支払わずに同社のアカウントを利用していると推定、他人のアカウントを共有している視聴者に厳しく対応する措置を各地で積極化した。結果、4-6月期の会員純増数は589万人と1-3月期の175万人から急増した。他方、会員当りの売上が為替変動や一部地域の値下げの影響から前四半期比減少した。

□ **広告なし格安プランを廃止へ**：米国と英国で新規加入者向けの月額9.99ドル基本プランを止め、広告付きの同6.99ドルプランか広告なしの場合、同15.49ドルからの設定し、会員当り売上の増加を目論む。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	434.67 (08/30)
52週高値(日付)	485 (23/07/19)
52週安値(日付)	211.81 (22/10/13)
時価総額	1,926億ドル 28兆1,691億円
株価変化率(%)	34.9 (過去6ヶ月間) 97.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	45.8 (倍)
株価売上高比率	6.0 (倍)
PBR	8.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	20.3 (%)
株式ベータ	1.49 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	29,698	19	6,195	35	5,116	85	11.24	0.00
2022/12	31,616	6	5,633	-9	4,492	-12	9.95	0.00

四半期業績

2022/Q2	7,970	—	1,578	—	1,441	—	3.20	0.00
2023/Q2	8,187	3	1,827	16	1,488	3	3.29	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

分社化で組織再編したIT(情報技術)業界の老舗。融合型クラウド、ブロックチェーンで巻き返しを図る

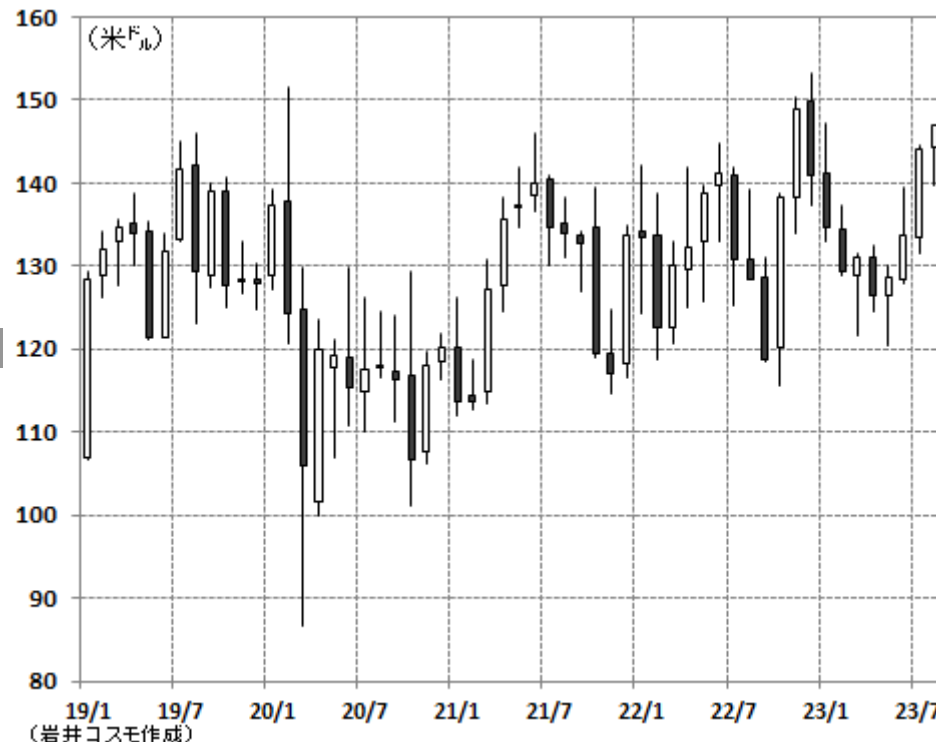
会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピュータサービス大手。米国特許取得の年間件数では28年連続の首位。1960-70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一時代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだ。他方、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント

□ **組織再編進展、ハイブリッドクラウド強化**: 2019年にオープンソースソフト大手のレッドハットを買収、21年11月にはITインフラサービス事業を分社化、オンプレミス(自社運用)とクラウドの融合型の「ハイブリッドクラウド」と人工知能(AI)等の分野に経営資源のシフトを図った。5月にAIに代替される業務の採用を停止すると発表し、経費節減にも尽力する。

□ **法人向けAI「ワトソンX」を発表**: IBMは5月開催の年次イベントで法人顧客向けの人工知能(AI)「ワトソンX」を発表。処理能力の精度やデータ管理能力を高めたという。7月19日の23年4-6月期決算の中で経営陣は「ワトソンX」の顧客企業の関心は高いと報告した。



株価チャート(2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	146.86 (08/30)
52週高値(日付)	153.16 (22/12/13)
52週安値(日付)	115.55 (22/10/13)
時価総額	1,338億ドル 19兆5,655億円
株価変化率(%)	13.6 (過去6ヶ月間) 13.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	16.8 (倍)
株価売上高比率	2.2 (倍)
PBR	6.0 (倍)
税引前配当利回り(%)	4.52 (直近年率)
配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	9.7 (%)
株式ベータ	0.76 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	57,350	—	4,837	—	5,743	—	6.35	6.55
2022/12	60,530	6	1,156	-76	1,639	-71	1.80	6.59

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q2	15,535	—	1,722	—	1,392	—	1.53	1.65
2023/Q2	15,475	-0.4	2,000	16	1,583	14	1.72	1.66

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

グラフィックデザインやマーケティング分野に強いソフトウェア企業。画像生成AIを強化

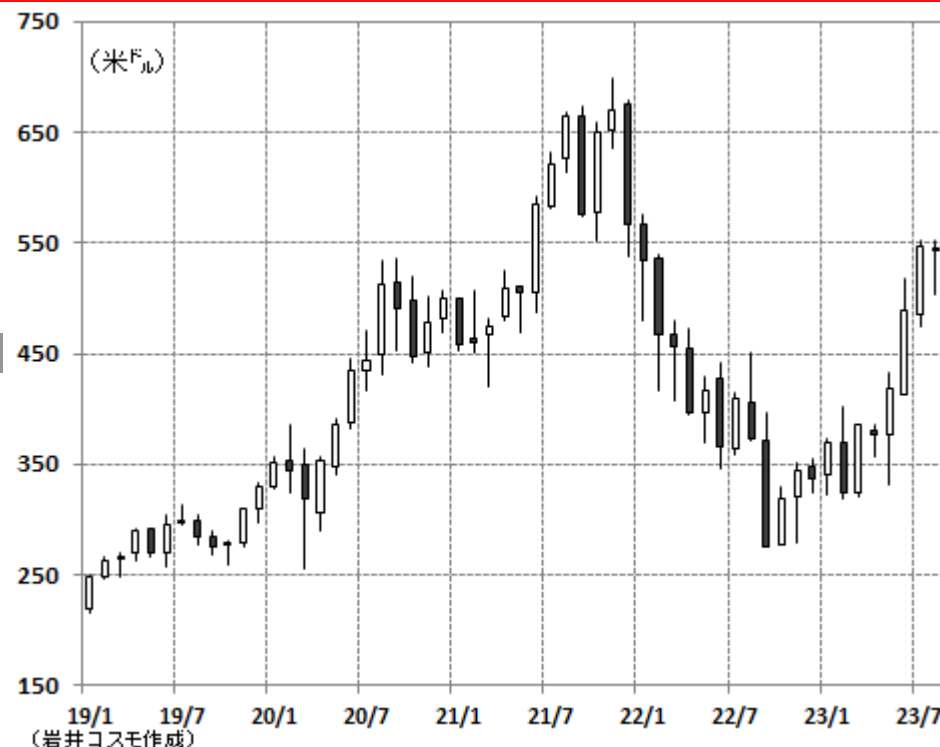
会社概要

画像加工/文書編集/マーケティング・ソフトの大手。身近な例では文書ソフト「PDFファイル」が有名。画像加工ソフト「フォトショップ」、「イラストレータ」等のクリエイター向けのソフトが売上の6割を占め、収益の柱。2009年にサイト閲覧解析のオムチュアの買収を機にデジタルマーケティング分野を強化、19年1月にマーケティング自動化ソフトのマルケトを取得。本社はカリフォルニア州サンゼ、従業員数は30,078名(23年5月末時点)。

注目ポイント

□ **クラウドビジネス転換の成功企業**: アドビは他社に先駆け2012年に従来のパッケージ販売からサブスクリプション(継続課金)制へ転換を図り現在、関連収入が9割を占め、営業利益率のV字回復も達成し成功した企業として知られる。

□ **画像生成AI「ファイアフライ」**: アドビは3月に簡単な文章をもとに画像などを生成する画像生成AI(人工知能)「ファイアフライ」の試験版を公開した。描きたいものの説明文を打ち込むと数秒で画像が出来上がる仕組み。6月の決算発表では、試験公開以来5億の作品が生み出されたと説明。アドビは今後、生成AI機能をサブスク方式で提供していく方針を示している。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	545.36 (08/30)
52週高値(日付)	552.76 (23/07/31)
52週安値(日付)	274.8 (22/09/27)
時価総額	2,486億ドル 36兆3,516億円
株価変化率(%)	68.3 (過去6ヶ月間) 45.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	51.1 (倍)
株価売上高比率	13.7 (倍)
PBR	16.8 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	33.7 (%)
株式ベータ	1.49 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/11	15,785	23	5,802	37	4,822	-8	10.02	0.00
2022/11	17,606	12	6,098	5	4,756	-1	10.10	0.00

四半期業績

2022/Q2	4,386	—	1,529	—	1,178	—	2.49	0.00
2023/Q2	4,816	10	1,624	6	1,295	10	2.82	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

導入企業の内勤業務の効率化・費用削減に貢献し高成長する企業

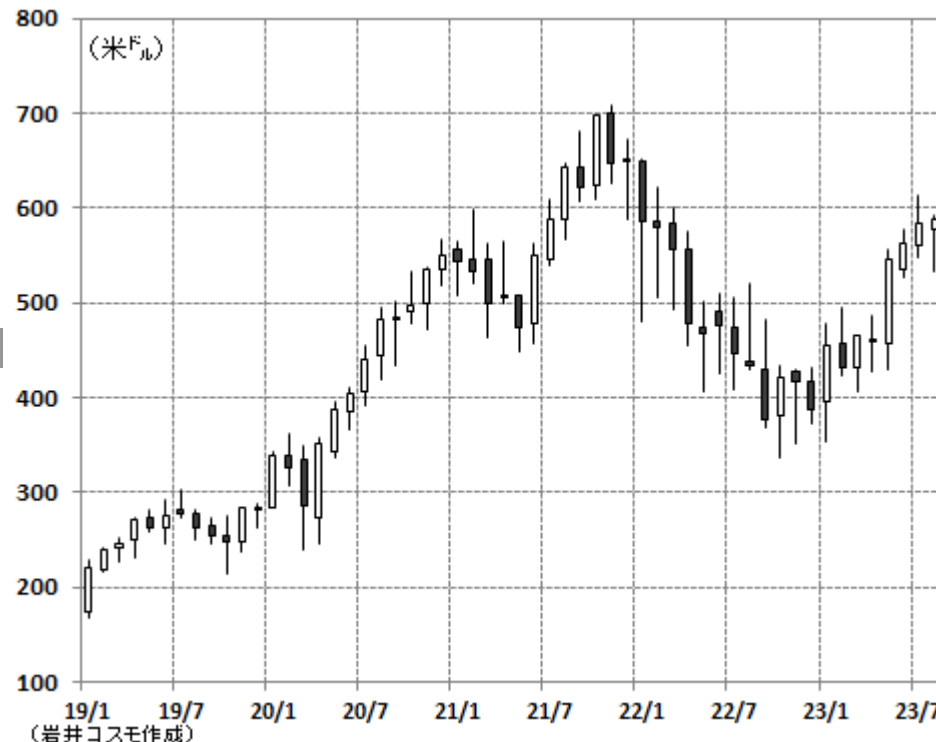
会社概要

米クラウド専門のソフトウェア企業。企業向けの社内ワークフローの自動化、業務プロセスの標準化を行う、社名と同じ「サービスナウ」というソフトウェアをクラウド形式で販売、顧客数は7,700社超。地域別売上(22年度)は北米65%、欧州等25%、アジア/太平洋が10%。2004年設立、12年6月にニューヨーク上場。本社はカリフォルニア州サンタクララ、従業員数は21,377名(23年6月末)。2019年11月にS&P500指数に採用。

注目ポイント

□ **日本の大手も採用する社内効率化クラウド**：主力の業務効率改善ソフト「ワークフロークラウド」を中心に販売、社内ワークフローの自動化を通じて社内の部署間のやり取りの遅滞や情報共有上の課題を解決し、より効率的な業務の遂行が可能となる。クラウドのメリットを活かし、初期投資負担が軽く、経費節減と社内の効率化が同時に図られ、パナソニック、ヤマハ、NTTデータなど、日本大手企業の導入実績がある。

□ **エヌビディアと協業**：サービスナウとエヌビディアは協業し、企業の社内システムに生成AI(人工知能)を導入しやすくする。サービスナウのクラウドサービスにエヌビディアの対話型AIサービスの開発基盤等を活用する。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	588.24 (08/30)
52週高値(日付)	614 (23/07/19)
52週安値(日付)	337.22 (22/10/13)
時価総額	1,200億ドル 17兆5,489億円
株価変化率(%)	36.1 (過去6ヶ月間) 34.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	224.2 (倍)
株価売上高比率	14.9 (倍)
PBR	17.3 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	25.6 (%)
株式ベータ	1.49 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	5,896	30	257	29	230	94	1.13	0.00
2022/12	7,245	23	355	38	325	41	1.60	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q2	1,752	—	22	—	20	—	0.10	0.00
2023/Q2	2,150	23	117	432	1,044	5,120	5.08	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

「人工知能(AI)」、「自動運転」の新市場に半導体を供給

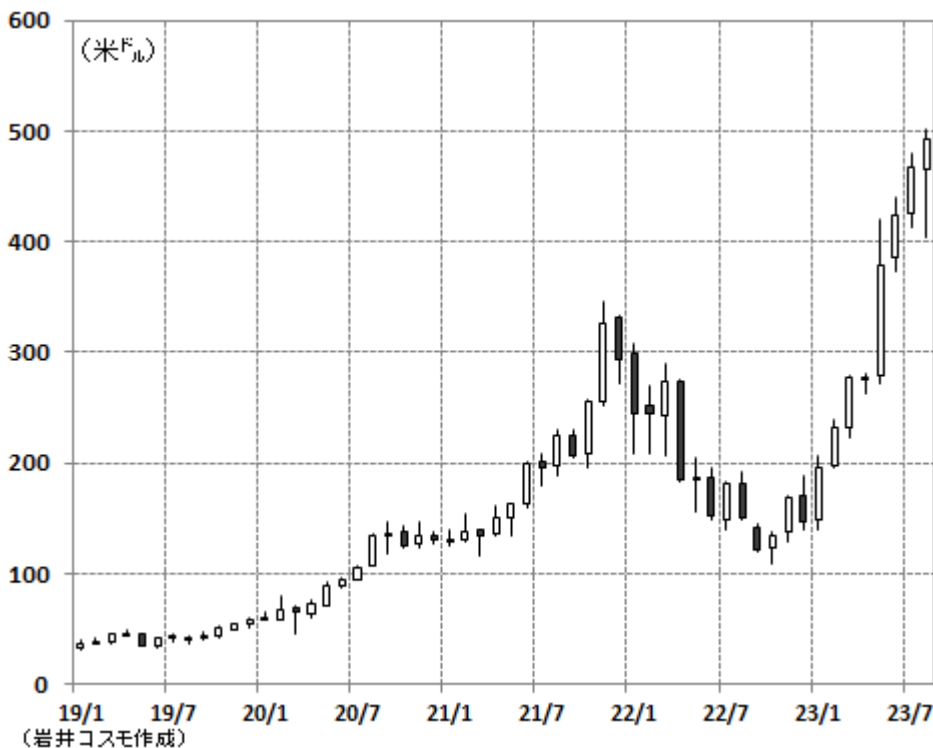
会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカで台湾セミコンダクターや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが56%、ゲーム市場向けが34%、視覚化技術に関するプロ向けが6%、自動車向けが3%、OEM&IPが2%(23年1月期)。

注目ポイント

□「AI」の計算処理に同社GPUが活躍：マイクロソフトやアマゾン、アルファベット、メタ等のIT大手を中心に、人工知能の「機械学習(大量データを用いて自ら学ぶ)」の計算処理に同社半導体を利用。コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルものもあるが、AIインフラの必須アイテムとなっている。

□8-10月期見通しはさらに強気に：エヌビディアが8月23日に発表した23年8-10月期のガイダンスでは、売上高を前年同期比2.6~2.8倍の156.8億~163.2億ドルとし、市場予想の125億ドルを大幅に上回る見通しを示した。会社側は「(AI関連のGPUの)生産能力を大幅に拡大中で今年後半と来年で供給は大幅に増加する」とコメントした。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	492.64 (08/30)
52週高値(日付)	502.3 (23/08/24)
52週安値(日付)	108.14 (22/10/13)
時価総額	12,168億ドル 1,77兆9,479億円
株価変化率(%)	112.2 (過去6ヶ月間) 218.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	114.7 (倍)
株価売上高比率	37.3 (倍)
PBR	44.2 (倍)
税前配当利回り(%)	0.03 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	40.2 (%)
株式ベータ	1.66 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/01	26,914	61	10,041	122	9,752	125	3.85	0.16
2023/01	26,974	0	4,224	-58	4,368	-55	1.74	0.16

四半期業績

2023/Q2	6,704	—	499	—	656	—	0.26	0.04
2024/Q2	13,507	101	6,800	1,263	6,188	843	2.48	0.04

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー。市場シェア獲得に期待

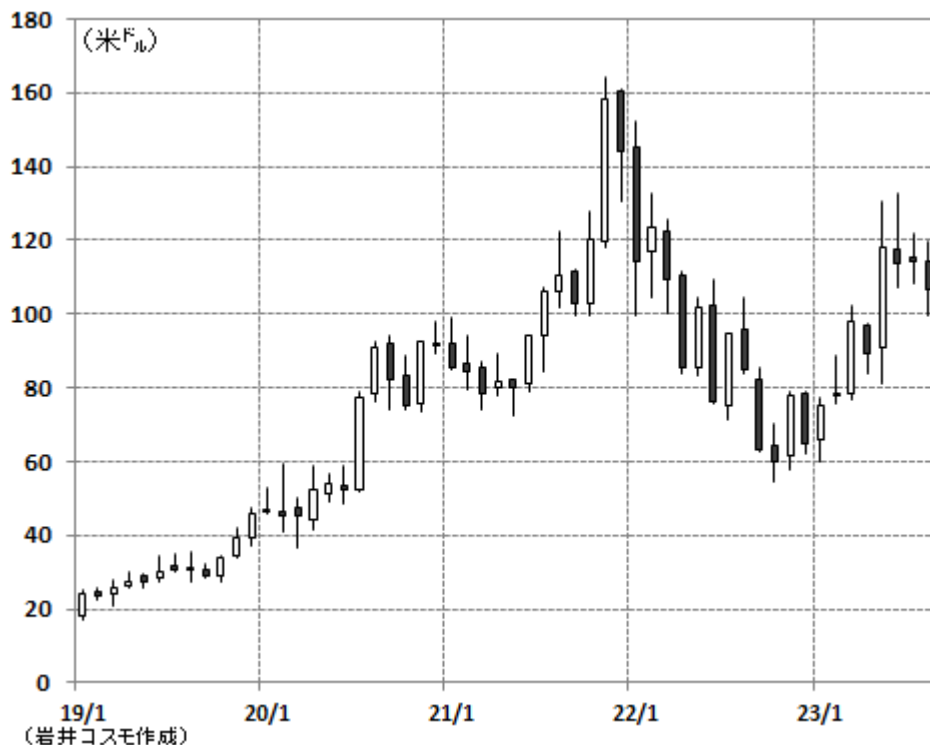
会社概要

1969年設立の老舗半導体メカ。現在は演算処理(CPU)・画像処理用半導体(GPU)、チップセットの開発・販売専門企業。2006年にGPU大手のATI社を買収、2011年に画像処理機能統合型半導体APUを市場投入。APUは最新「Xbox シリーズX/S」、「プレイステーション5」等に採用され、据置型ゲーム機市場で存在感。22年にはプログラマブル半導体に強みを持つ同業のザイリンクスを買収した。

注目ポイント

□ **インテルやエヌビディアに劣後も巻き返し目指す**：AMDはインテルのCPUやエヌビディアのGPUに対抗製品を提供できる稀有な存在。ただPCやサーバ向けCPUではインテルの方がシェアで勝り、GPUの分野でもエヌビディアに後塵を拝す。ただ近年は優秀な半導体設計者を他社から引き戻し、インテルやエヌビディアの牙城の切り崩しを画策する。

□ **高性能AI用半導体を年後半投入**：AMDは生成AIにも対応する高性能GPU「MI300X」を23年第4四半期に投入する計画で、「1強状態」にあるエヌビディアに対抗する。また中国向けの輸出規制対応の廉価版GPUを開発していることを第2四半期決算時に言及した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	106.59 (08/30)
52週高値(日付)	132.8 (23/06/13)
52週安値(日付)	54.58 (22/10/13)
時価総額	1,722億ドル 25兆1,846億円
株価変化率(%)	35.6 (過去6ヶ月間) 22.6 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	974.3 (倍)
株価売上高比率	7.9 (倍)
PBR	3.1 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-0.0 (%)
株式ベータ	1.49 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	16,434	68	3,648	166	3,162	27	2.57	0.00
2022/12	23,601	44	1,264	-65	1,320	-58	0.84	0.00

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q2	6,550	—	526	—	447	—	0.27	0.00
2023/Q2	5,359	-18	-20	赤転	27	-94	0.02	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

オランダの半導体製造装置世界大手。「EUV露光」の唯一のメーカー

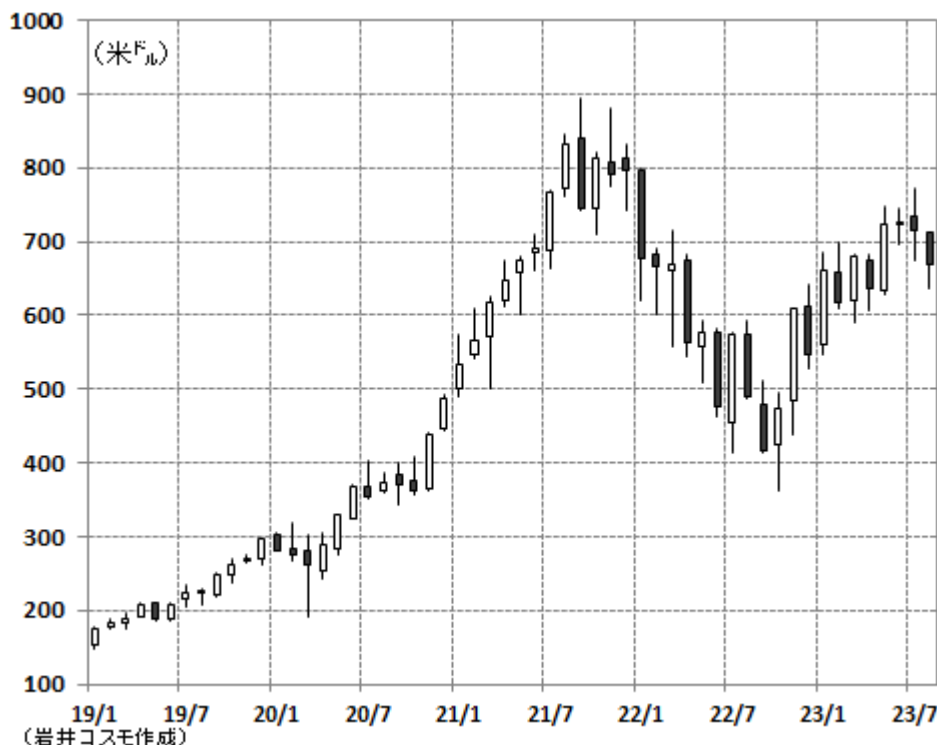
会社概要

オランダの半導体製造装置メカ。半導体製造工程の前工程の装置メカの2018年の売上規模で、首位の米アプライド・マテリアルズに次ぐ2位に位置する。半導体の回路をシリコンウエハ上に焼き付ける露光装置のシェアの約8割を抑える。1984年オランダのフィリップス社と半導体商社ASMインターナショナルに折半出資された会社が起源。本社はオランダ・フェルトホーヘン、従業員数は38,866人(23年7月時点)。

注目ポイント

□**EUV露光で世界をリード**：世界で唯一単独供給する「EUV露光装置」は光源に屈折率の大きな極端紫外線を用いて、より細かい電子回路を焼き付けることが可能で先端半導体の開発に大きく貢献。同装置は1台1億ユーロ以上と高額だが、2022年は40台を出荷した。

□**EUV要因以外で通期売上高見通しを上方修正**：23年4-6月期決算では23年の増収率見通しを従来の前期比+25%以上から+30%へ引き上げたが、中国向けのDUV(深紫外線)装置が主因であり、顧客の工場着工の遅れから23年EUV出荷台数予想を60台前後から52台前後に引き下げた。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	669.56 (08/30)
52週高値(日付)	771.77 (23/07/14)
52週安値(日付)	363.31 (22/10/13)
時価総額	2,699億ドル 39兆4,739億円
株価変化率(%)	8.4 (過去6ヶ月間) 35.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	32.7 (倍)
株価売上高比率	9.4 (倍)
PBR	23.3 (倍)
税前配当利回り(%)	0.95 (直近年率)
配当成長率(%)	12.2 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	81.3 (%)
株式ベータ	1.59 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ユーロ)	前同比 (%)	営業利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	当期利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	1株利益 (ユーロ)	配当 (ユーロ)
2021/12	18,611	—	6,750	—	5,883	—	14.34	3.35
2022/12	21,173	14	6,501	-4	5,624	-4	14.13	6.44

四半期業績

2022/Q2	5,431	—	1,653	—	1,411	—	3.54	3.70
2023/Q2	6,902	27	2,205	37	1,942	38	4.93	1.69

※2022年後半より、配当金支払い頻度が年2回から年4回へ変更

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

次世代ファイアウォール機器専門大手。インターネットセキュリティ関連の代表格

会社概要

2005年設立の「次世代ファイアウォール」機器の専門大手。高度なソフトウェアが組み込まれた製品は、インターネット・セキュリティ上の「ファイアウォール（防火壁）」となり、外部ネットワークからの攻撃や不正なアクセスに対して自分達のネットワークやコンピュータを防御する役割を担う。次世代のファイアウォールの特徴は、包括的なセキュリティ対策を高速処理で行う点にある。本社はカリフォルニア州サンタクララ。

注目ポイント

□ **統合型セキュリティ企業としての強み**：全世界で6万団体超の顧客を抱え、日本ではインターネットイニシアティブ/サイバーエージェント/KDDI/東京大学等に導入実績あり。外からの攻撃を守るファイアウォールや最終端末防御、クラウド保護など幅広く網羅する統合型サービスが強み。無駄なIT支出抑制とセキュリティ環境の構築を両立したい企業ニーズを取り込み、従来型セキュリティ企業から市場シェアを奪取してきた。

□ **収益性改善を見据える中計目標**：中計では23-26年度の調整後1株利益・年平均成長率20%以上、26年度の調整後営業利益率28-29%(23年度:24%)、同利益率の長期目標を「30%台前半～半ば」とし、収益性向上を中心的な財務目標に据えている。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	237.9 (08/30)
52週高値(日付)	258.88 (23/07/05)
52週安値(日付)	132.22 (23/01/12)
時価総額	728億ドル 10兆6,408億円
株価変化率(%)	26.3 (過去6ヶ月間) 27.5 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	181.8 (倍)
株価売上高比率	10.5 (倍)
PBR	41.6 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	44.9 (%)
株式ベータ	1.07 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/07	5,502	29	-189	赤継	-267	赤継	-0.90	0.00
2023/07	6,893	25	387	黒転	440	黒転	1.28	0.00

四半期業績

2022/Q4	1,551	—	15	—	3	—	0.01	0.00
2023/Q4	1,953	26	79	5.1倍	228	69倍	0.64	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

従来の概念を覆した高級電気自動車メーカー

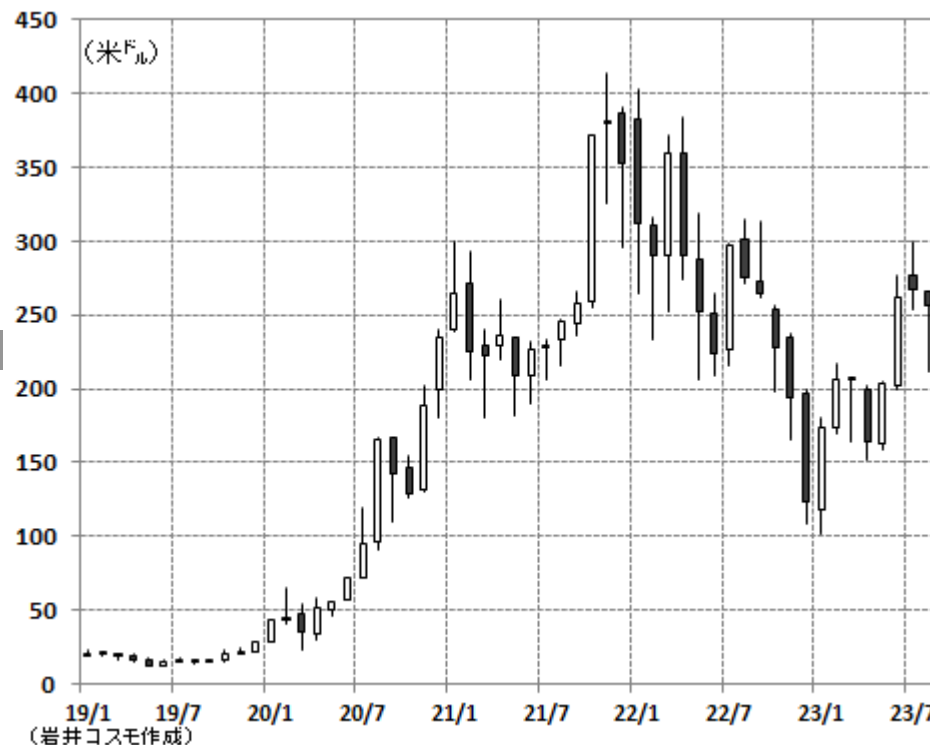
会社概要

2003年創業の世界最大の電気自動車(EV)の専門メーカ。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。2020年12月にテスラ株はS&P500種指数に採用された。最高経営責任者(CEO)のイーロン・マスク氏は宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任するなど、世界を代表するカスマ経営者として知られる。

注目ポイント

□ **充電規格はテスラ式が主流に**：ゼネラル・モーターズとフォード・モーターは、急速充電設備を巡り、テスラの充電規格を採用することを決めた。これを受け、充電設備大手の米チャージ・ポイントもテスラの高速度充電規格「NACS」に対応するために自社ネットワークを刷新すると表明。規格争いが続いていたEV充電設備は、テスラ式への統合が加速する。

□ **値引き戦略が奏功してEV業界をリード**：テスラの23年上期のEV販売台数は前年同期比57%増の約89万台とBMW/メルセデスベンツ/フォルクスワーゲン/ポルシェの独大手の4社EV販売合計約60万台弱を上回った。主戦場の中国や米国で値引き戦略等が奏功している。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	256.9 (08/30)
52週高値(日付)	313.8 (22/09/21)
52週安値(日付)	101.83 (23/01/06)
時価総額	8,154億ドル 119兆2440億円
株価変化率(%)	24.9 (過去6ヶ月間) -7.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	72.6 (倍)
株価売上高比率	8.6 (倍)
PBR	15.9 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	27.9 (%)
株式ベータ	1.66 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	53,823	71	6,523	227	5,519	665	1.63	0.00
2022/12	81,462	51	13,656	109	12,556	128	3.62	0.00

四半期業績

2022/Q2	16,934	—	2,464	—	2,259	—	0.65	0.00
2023/Q2	24,927	47	2,399	-3	2,703	20	0.78	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

航空機製造の世界大手。民間旅客機部門が復活の兆し

会社概要

世界最大の民間機及び軍用機メーカ。回転翼航空機、電子及び防衛システム、ミサイル、ロケットエンジン、衛星、衛星打ち上げ機等の幅広い製品を世界90カ国以上に提供。主力の民間航空機部門は小型機「737MAX」が2度の墜落事故を起こし、出荷・運航を停止していたが、米連邦航空局(FAA)の承認を経て、20年12月に運航を再開。NYダウ工業株平均採用銘柄。

注目ポイント

□ **サービス部門が航空業界の復活の恩恵享受**: ボーイングは世界各地の航空キャリアの保有する航空機を保守を請け負う「グローバルサービス」部門を強化中だが、旅客サービス業のコロナ禍の回復するに伴い収益拡大。他部門と比べて安定収益源として貢献している。

□ **民間航空機の納入が持ち直し**: 23年4-6月期決算では民間航空機の納入機数は前年同期比12%増の136機に改善、製品品質関連した特損計上のため営業赤字が続いたが、同社の現金収支は2四半期振りに黒字転換、かつてのドル箱の民間航空機部門の営業黒字化が年末から来年初めに達成可能な見通しを示した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	228.85 (08/30)
52週高値(日付)	243.02 (23/08/01)
52週安値(日付)	120.99 (22/09/30)
時価総額	1,380億ドル 20兆1,874億円
株価変化率(%)	13.5 (過去6ヶ月間) 41.1 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	— (倍)
株価売上高比率	1.9 (倍)
PBR	— (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ベータ	1.08 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	62,286	7	-2,902	赤継	-4,202	赤継	-7.15	0.00
2022/12	66,608	7	-3,547	赤継	-4,935	赤継	-8.30	0.00

四半期業績

決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
2022/Q2	16,681	—	780	—	193	—	0.32	0.00
2023/Q2	19,751	18	-149	赤転	-149	赤転	-0.25	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

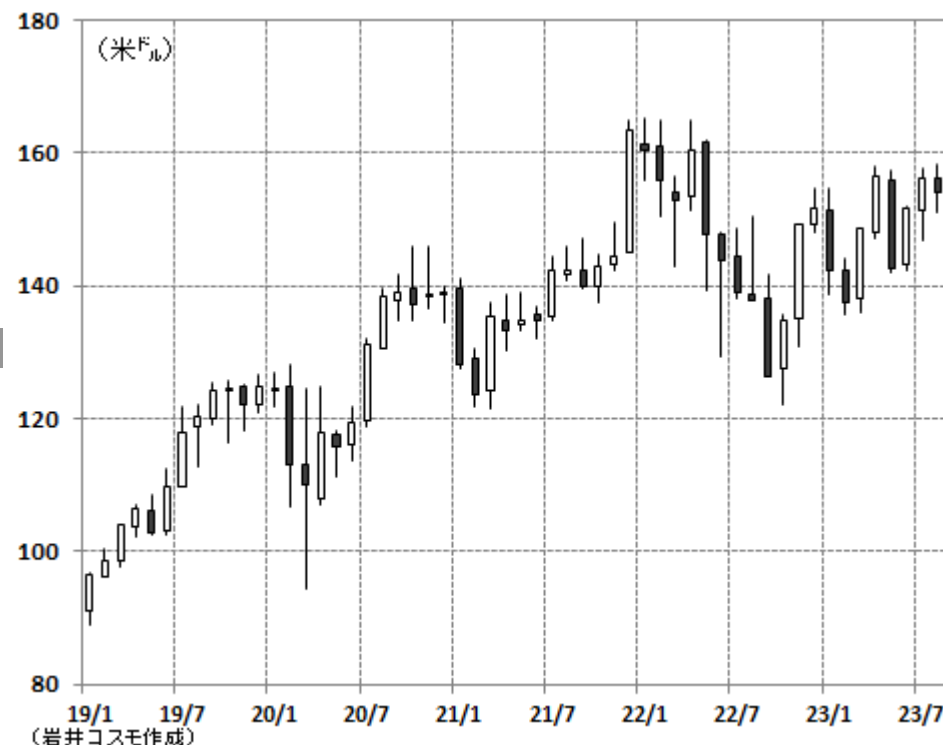
会社概要

世界最大の日用品メカ。「P&G」のブランド名で家庭用品、パーソナルケア用品、工業用製品の製造・販売に従事。世界180ヶ国、約50億人に製品を提供。1857年に設立、本社はオハイオ州シンシナティ。主力製品は洗剤「アリエール」、紙おむつ「パンパース」、化粧品「SK-II」、シャンプー「パンテン」等。22年4月に株主還元では66年連続して増配を宣言。1932年からニューヨークダウ30種平均構成銘柄に名を連ねる。

注目ポイント

□ **インフレ時代の「値上げ力」を市場は評価**: P&Gのジョン・メラCEOは値上げに関して「過去18年間のうち、17年間で値上げは売上高にプラスの影響をもたらした。より高いレベルの商品を提供しさえすれば、さらに値上げも可能」との認識を示して値上げ余地を強調する。

□ **米国の販売数量がプラスに**: 7月28日発表の4-6月期決算は、前年同期比5%増収、11%の最終増益。値上げの影響で世界全体の販売量減が継続したが米国の販売量は3%増を達成。24年6月期は1株利益が前期比6~9%増の6.25~6.43ドルになるとの見通しで90億ドルの配当支払いと50~60億ドルの自社株買いを計画する。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	154.04 (08/30)
52週高値(日付)	158.35 (23/08/10)
52週安値(日付)	122.18 (22/10/10)
時価総額	3,631億ドル 53兆0,933億円
株価変化率(%)	12.0 (過去6ヶ月間) 9.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	26.2 (倍)
株価売上高比率	4.5 (倍)
PBR	7.9 (倍)
税前配当利回り(%)	2.44 (直近年率)
配当成長率(%)	4.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	31.6 (%)
株式ベータ	0.74 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/06	80,187	5	17,813	-1	14,742	3	5.81	3.523
2023/06	82,006	2	18,134	2	14,653	-1	5.90	3.6806

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q4	19,515	—	3,598	—	3,052	—	1.21	0.9133
2023/Q4	20,553	5	4,162	16	3,384	11	1.37	0.9407

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

60年連続増配実績を有する世界を代表する大手飲料メーカー

会社概要

世界的な清涼飲料水メカ。世界200超の国や地域で500以上の非アルコール飲料ブランドを製造・販売。世界販売数量の7割前後を炭酸飲料が占める。世界各地の瓶詰め(ボトリング)会社に飲料の原液を販売し、代表商品の「コカ・コーラ」の原液のレシピは、門外不出とされる。筆頭株主はハフェット氏率いるパークシャー・ハサウェ(出資比率9%)。本社はジョージア州アトランタ、NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **ブランド力のあるグローバル企業**: 販売数量の8割が米国外とグローバル化が進んだ企業であり、インターブランド社調べのブランド力は飲料・食料品メーカーでトップ。飲料ブランドには「コカ・コーラ」、「ダイエットコーク」、「ミニッツメイド」、「パウ・エイド」、「ファンタ」、「スプライト」等のブランドがある。株主還元では、これまで60年連続の増配実績を持ち、同銘柄はS&P500配当貴族指数にも属する。

□ **価格効果で増収増益**: 4-6月期業績は販売数量は前年同期比横ばいだったが、値上げと高価格品の販売増で増収増益を確保。今期の調整後1株利益成長率を為替中立ベースで+9~11%とした。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	60.47 (08/30)
52週高値(日付)	64.99 (23/04/24)
52週安値(日付)	54.015 (22/10/10)
時価総額	2,615億ドル 38兆2,408億円
株価変化率(%)	1.6 (過去6ヶ月間) -2.7 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)	
実績PER	23.1 (倍)
株価売上高比率	5.9 (倍)
PBR	10.1 (倍)
税前配当利回り(%)	3.04 (直近年率)
配当成長率(%)	4.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	42.9 (%)
株式ベータ	0.71 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	38,655	17	10,308	15	9,771	26	2.25	1.68
2022/12	43,004	11	10,909	6	9,542	-2	2.19	1.76

四半期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2022/Q2	11,325	—	2,341	—	1,905	—	0.44	0.42
2023/Q2	11,972	6	2,401	3	2,547	34	0.59	0.44

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インシュリンを世界初で開発した企業。肥満症やアルツハイマー型認知症治療薬に注目集まる

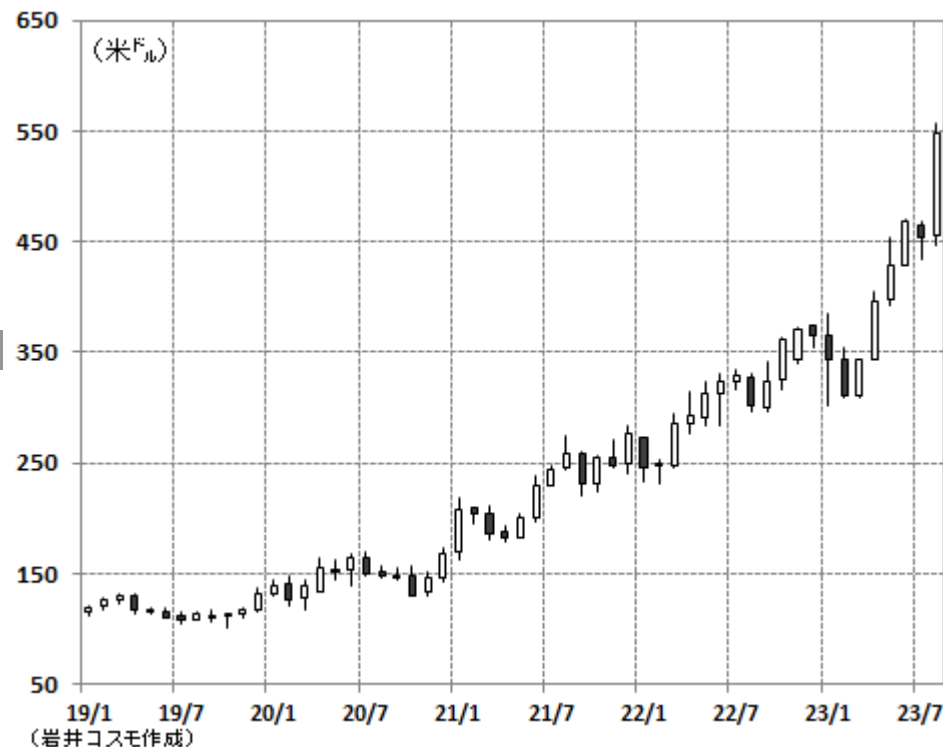
会社概要

米国製薬大手。インシュリンの実用化に世界で初めて成功した企業であり、神経系・内分泌・がん・循環器系の各分野で大型薬を販売。2019年2月にがん治療薬の開発のロキソ・オンコロジ-を買収、同年3月に動物医薬品事業の分離を完了。2021年1月に神経変性疾患の遺伝子治療薬を手がけるプリヴェイル・セラピューティクスを取得した。1876年創業、本社はインディア州インディアナポリス。

注目ポイント

□ **肥満症やアルツハイマー症の新薬候補に脚光**：同社は競合よりも将来の大型新薬候補が充実。ひとつは既に2型糖尿病薬として新薬承認された「マンジャロ(一般名チルセパチド)」の肥満症への適応拡大、もう一つがアルツハイマー型認知症の治療薬「ドナネマブ(FDA申請中)」であり、来期以降の売上への本格貢献が期待される。

□ **肥満症の治療薬「レトルチド」も過去最高の体重減少効果**：6月26日に「チルセパチド」の後継の肥満症治療薬「レトルチド」が48週間の最高用量の投与で平均体重減少率が24%に上ったとするフェーズⅡの治療結果を学会誌で発表した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	547.99 (08/30)
52週高値(日付)	557.57 (23/08/30)
52週安値(日付)	296.32 (22/09/21)
時価総額	5,202億ドル 76兆0,747億円
株価変化率(%)	76.1 (過去6ヶ月間) 78.5 (過去1年間)

株価指標 (バリュエーション)

実績PER	67.1 (倍)
株価売上高比率	16.7 (倍)
PBR	47.0 (倍)
税前配当利回り(%)	0.82 (直近年率)
配当成長率(%)	15.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	66.3 (%)
株式ベータ	0.69 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	28,318	15	6,156	-15	5,582	-10	6.12	3.40
2022/12	28,541	1	6,806	11	6,245	12	6.90	3.92

四半期業績

2022/Q2	6,488	—	1,091	—	953	—	1.05	0.98
2023/Q2	8,312	28	2,089	91	1,763	85	1.95	1.13

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

外科手術ロボットを製造・販売。手術件数の伸びが日本など海外中心に伸長

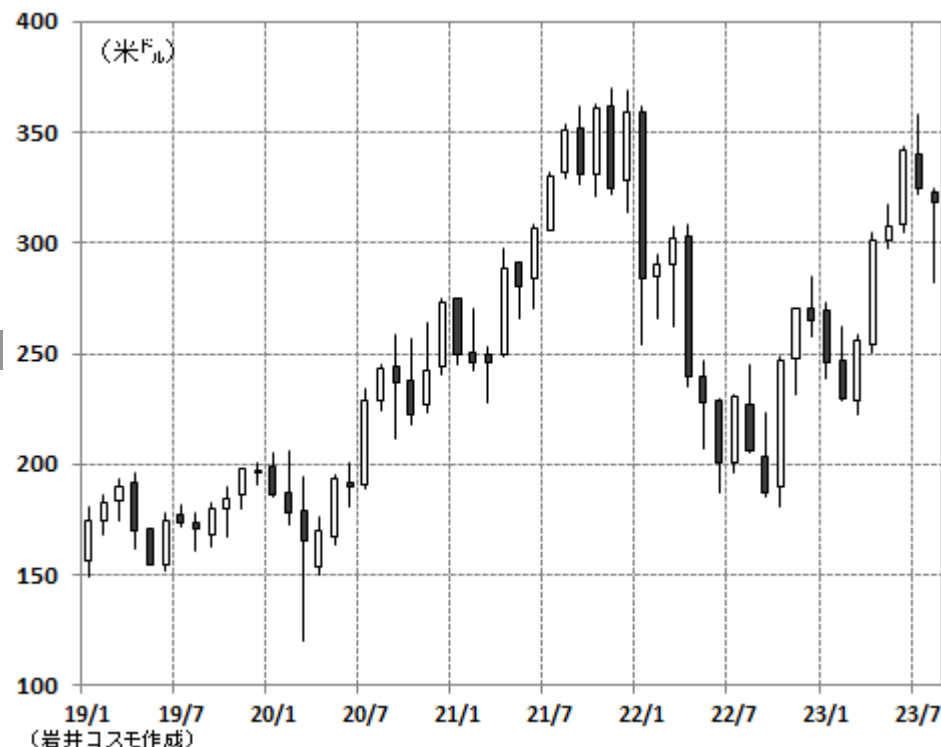
会社概要

「ダ・ビンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供できるのが特徴。日本の病院でも同社ロボット手術が普及。22年末時点の稼働状況は、全世界で7,544台。22年度の全世界の手術件数実績は約188万件。日本は570台以上が設置され、手術の保険適用の範囲が広がる有望市場。

注目ポイント

□ **体への負担の少ない医療を実現するロボット**: 手術ロボット「ダ・ビンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。

□ **4-6月期は手術件数の好調さが持続**: 23年4-6月期業績では、15%増収・16%営業増益の着地。「ダ・ビンチ」を使った手術件数は前年同期比で22%増加し、前四半期に続き好調さを維持、今期の手術件数の伸びを前期比20-22%増と従来から上方修正した。



株価チャート (2019年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	318.58 (08/30)
52週高値(日付)	357.88 (23/07/19)
52週安値(日付)	180.34 (22/10/13)
時価総額	1,119億ドル 16兆3,693億円
株価変化率(%)	38.9 (過去6ヶ月間) 54.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	78.0 (倍)
株価売上高比率	16.8 (倍)
PBR	9.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	11.9 (%)
株式ベータ	1.32 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2021/12	5,710	31	1,821	73	1,705	61	4.66	0.00
2022/12	6,222	9	1,577	-13	1,322	-22	3.65	0.00

四半期業績

2022/Q2	1,522	—	398	—	308	—	0.85	0.00
2023/Q2	1,756	15	463	16	421	37	1.18	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- ・国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- ・国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- ・現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- ・「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- ・新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前
交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。